

北海道ロジサービス 物流DXで第一回「日本物流大賞」を受賞 地域インフラ維持と効率化を両立

生活協同組合コープさっぽろ（以下、コープさっぽろ）では、物流関連会社の北海道ロジサービス株式会社（以下、HLS）が、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する第一回「日本物流大賞」を受賞いたしました。

本賞は、これまで実施してきた「物流環境大賞」および「モーダルシフト優良事業者大賞表彰」を発展的に統合したものであり、従来の「環境負荷低減」や「モーダルシフト」のみならず、「事業者間連携」、「先進技術活用」、「働き方改革貢献」など、持続可能な物流の実現に向けた優れた取り組みを広く顕彰するものです。

受賞対象となった取り組みは「『DX×匠の現場力』による物流構造改革」であり、AI需要予測を用いた配送の1便化と地域シェアリングモデルの構築が高く評価されました。具体的には、需要予測型自動発注システムの活用により曜日別の荷量を平準化し、デイリー便を2便から1便へ完全集約することで、積載率を従来の78%から93%へと大幅に向上させています。また、協力業者との協業による地域シェアリングモデルを構築し、個社最適を超えた地域インフラの維持と持続可能な物流の実現を目指しました。この「三位一体」の構造改革により、物流2024年問題への対応と社会的意義のある成果を数字で証明しております。

つきましては、以下のとおりお知らせいたしますので、取材のほどよろしくお願いたします。

【概要】

■取組み内容

物流の未来を切り拓く「三位一体」の構造改革

- 【社会的意義】 個社最適を超えた「地域インフラ」の維持
 - 【手法の独創性】 AI予測×匠の現場力（DXとアナログの融合）
 - 【圧倒的な成果】 数字が証明する構造改革のインパクト
- 改正物流効率化法が求める「積載率の向上」「CO2の削減」「関係事業者との連携・協調」を網羅した先進的な構造モデルです。

■改善後の変化

【実施前】 低積載と配送重複のデイリーの常態化

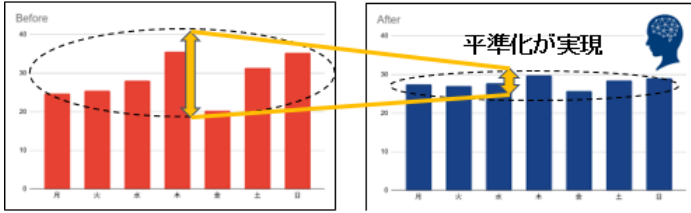
【実施後】 DX×共創による圧倒的な生産性向上

- ① DX： 自動発注による荷量平準化で、配送を1便へ完全集約。
- ② 成果： 積載率 93%（+58pt）の大幅向上。
- ③ 共創： 共同配送により車両台数を削減。
 - 環境： CO2年間 310t 削減（スギの木2.2万本分）
 - 労働： 年間 26,448時間 削減（毎日トラック7台分を解放）

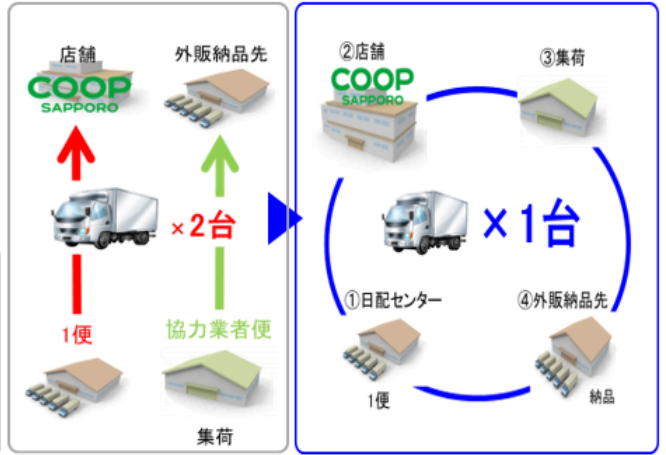
【報道関係のお問合せ先】

生活協同組合コープさっぽろ 広報部 広報メディアグループ 森 ゆかり・前田 楓華
〒063-8501 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 TEL 050-1741-5516（平日9時～18時）

①物流DX：需要予測型自動発注システムの活用 ※曜日別荷量 ③関係事業者との協業 ～競争から協調領域へ～



②デイリー2便→1便へ完全集約で積載率93%へ！！



【カートラックの積載画像】



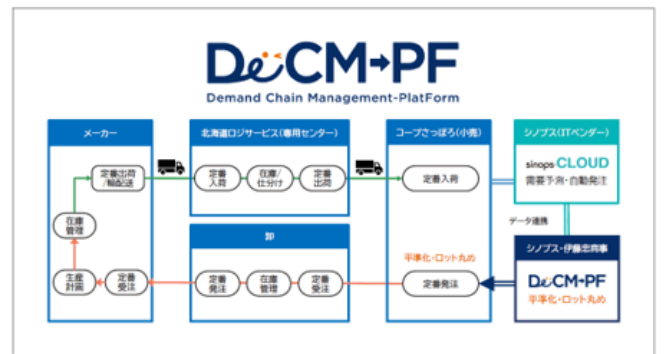
※便を集約することで、カートラの積載率も大きく向上した

【トラックの積載画像】



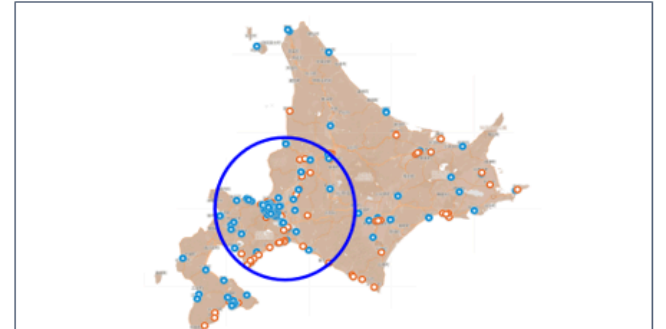
※便を集約しても、1便にすべて積載可能な配車組みに設定

【自動発注の全体像】



※専用センターと小売りまでの車両手配が当社の管轄

【本件の配送エリア】 ※青枠で囲った部分



※店舗構成約60%の札幌エリアで構造改革を実現

- 北海道ロジサービス株式会社 会社概要
- 社名：北海道ロジサービス株式会社
- 事業開始日 2013年4月1日
- 資本金 8,500万円
- 株主 コープトレーディング株式会社(100%)
- 代表者 代表取締役社長 岩藤正和
- 従業員数 約1,900名(2026年5月現在)
- 売上高 2025年 167億円
- 敷地面積 20,000坪
- 車両入場数 1日約750台

URL >

<https://www.hokkaidologiservice.co.jp/>

